

参加費用・申し込みなどについて

- ①宿泊無しで2日間参加 .....3,500円
  - ②1日のみ .....2,000円
  - ③オンライン参加(2日間) .....3,500円
  - ④オンライン参加(1日のみ) .....2,000円
  - ⑤宿泊で2日間参加(朝食付き) .....9,500円
- 懇親会... 500円+1品(もしくはお酒1本※ビール  
の場合は数本)持参・現地参加のみ
- お昼ご飯(19日・20日・両日) ... 1日につき850円  
※懇親会・お昼ご飯は現地現金支払いとなります

送迎バス

19日20日共に、JR宇都宮駅と会場を結ぶ無料の送迎バスがあります。要予約。詳細は、右記特設サイトにてご確認ください。



参加申し込みは特設サイトにて

宿泊所 | 星ふる学校 くまの木 (栃木県塩谷郡塩谷町熊ノ木802番地)



お部屋について

廃校の教室に泊まります。基本は相部屋です(布団かベット)。校庭でテント泊も可(テントは持参。宿泊費は必要)。詳細は、くまの木のホームページをご確認ください >>



ボランティア推進団体会議 (世話団体)

認定 NPO 法人茨城 NPO センター・commons、社会福祉法人大阪ボランティア協会、NPO 法人かぬま市民活動サポーターズ、NPO 法人静岡県ボランティア協会、社会福祉法人世田谷ボランティア協会、認定 NPO 法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ、東京ボランティア・市民活動センター(社会福祉法人東京都社会福祉協議会)、社会福祉法人東京都共同募金会、一般社団法人東京メディアエーションセンター、NPO 法人とちぎ協働デザインリーグ、認定 NPO 法人とちぎボランティアネットワーク、公益財団法人とちぎ YMCA、NPO 法人ボランティア・市民活動学習推進センターいたばし、NPO 法人山梨県ボランティア協会、認定 NPO 法人 JUON (樹恩) NETWORK (五十音順)

第43回 全国ボランティア推進団体会議

# 民ボラ in 栃木

## 2026.7.19(日)・20(月祝)

会場 | 星ふる学校 くまの木 (栃木県塩谷郡塩谷町熊ノ木802番地)

- 参加方法
- ①宿泊無しで2日間参加 : 3,500円
  - ②1日のみ : 2,000円
  - ③オンライン参加(2日間) : 3,500円
  - ④オンライン参加(1日のみ) : 2,000円
  - ⑤宿泊で2日間参加 : 9,500円
- ※詳細は裏面へ

民ボラ(ボランティア推進団体会議)は、全国のボランティア活動や市民活動など、ボランティアに市民の立場で活動を進めようとする団体・人々が集い、相互研鑽を進める場です。



7月19日プログラム オープニング | 13:40-15:50 (開場13:10)

### みんな崖っぷち「戦争にまきこまれる現場」から、市民活動の未来を予測する

基地が集中する沖縄では、2022年に「重要土地等調査規制法(土地規制法)」が施行され住民への監視が進んでいます。今回は、沖縄で平和を守るのための対話活動に取り組む「沖縄対話プロジェクト」発起人の谷山博史さんを招いて、沖縄の米軍・自衛隊基地の現状を語っていただきます。また高市政権下で急激に進む軍事化、すなわち「安保三文書改定」「スパイ防止法」「外国代理人登録法」「国家情報会議設置法」など国民監視と人権侵害が危惧される「軍事化、でおこる市民活動の抑圧の近未来も予想します。市民の自由な社会活動を守るための方策について、参加者と語り合いたいと思います。

基調  
発題者



谷山博史さん  
土地規制法廃止アクション事務局  
全国連絡先事務局担当

討論者 矢野正広さん(認定NPO法人とちぎボランティアネットワーク 代表) + ラジオ学生(予定)

総括 枝見太朗さん(社会福祉法人東京都共同募金会 常務理事) 進行 早瀬昇さん(社会福祉法人大阪ボランティア協会 理事長)



◎「戦後70年 歴史家ジョン・ダワーさんの警告」を事前に見てご参加ください

日本社会崖っぷち。市民活動はどうする!?

お問い合わせ

認定NPO法人とちぎボランティアネットワーク  
〒320-0806 栃木県宇都宮市中央2-7-6  
TEL 028-678-3155 FAX 028-678-3176 MAIL info@tochigivnet.jp



詳細・お申し込みはこちらから  
(特設サイト)

分科会① | 16:10-18:10

## 中山間地の復興から未来を考える

— 能登と中越地震の経験から学ぶ  
持続可能な取り組み

これまでも自然災害が発生するたびに、被災地域はもちろん、全国から支援者が駆け付け、中長期にわたって共に復興に向けた取り組みを行ってきました。しかし、2024年1月1日に発生した能登半島地震では、地理的な要因が大きかったことに加え、過疎・人口減少、社会インフラの縮小など、現代の日本社会が抱える課題が、復興に大きな影響を及ぼしています。こうした社会課題がもたらす影響は、今後の自然災害の復興支援（事前復興）で考える上で避けては通れない視点です。

本分科会は、これまでの被災地での復興（生業の再建）に伴う取り組み、能登半島地震の現状を踏まえて、いくつかのキーワード（農業や観光などの産業、移住者、関係人口など）と、過去の災害での復興の事例を軸に、参加者同士が対話を通して今後の復興の在り方を考えるきっかけとします。

**話題提供者** 森山奈美さん（(株)御破川 代表/(一社)能登復興ネットワーク 理事）  
平澤勝幸さん（木沢里山食堂、木沢棚田オーナー制木沢ハウス（農家民宿）、兼業農家・自営業）  
阿部巧さん（公益財団法人中越防災安全推進機構）

分科会② | 16:10-18:10

## これからの市民活動センターは誰が担うのか

— 地域主体と事業運営のあいだで

近年、市民活動支援センターなどの中間支援施設では、指定管理制度のもとで大規模な事業者が運営を担うケースが増えています。一方で、市民活動から生まれた団体が地域主体で運営を行う事例も存在しています。本分科会では、地域密着型の運営を行う団体と広域で施設運営を担う事業者の実践を手がかりに、市民活動支援における「地域性」「民間性」「運動性」とは何かを考えます。そして、市民活動支援センターの運営のあり方や、これからの中間支援組織の役割について参加者とともに議論します。

**話題提供者** 高田篤さん（街活性室株式会社 市民活動事業統括）  
渡邊博和さん（NPO法人かぬま市民活動サポーターズ 事務局長）  
**コーディネーター** お楽しみに！

# 被災地の崖っぷち

# 崖っぷちの市民活動センターの

もちより懇親会 | 18:20-20:50 ※現地参加のみとなります

操業者に聞く。  
永井美佳さん&矢野正広さん（各20分）  
&みんなで焚火！

最前線で現場を動かしている二人の「操業者」から、ここでしか聞けないリアルなお話を伺います。焚火を囲み、皆で語り合しましょう。  
※参加費用：500円+1品  
（もしくはお酒1本※ビールの場合は数本）持参

分科会③ | 9:30-11:30

## 社会福祉法人の 地域における公益的取り組みと、 ボラ・市民の協働をひらく

— 地域主体と事業運営のあいだで

社会福祉法人には地域に対する公益的役割が求められていますが、その実践は法人内に閉じがちです。一方、地域には新たな市民活動の可能性も潜在しています。本分科会では、全国の先進事例を手がかりに、両者の掘り起こしと歩み寄り協働の可能性を探ります。

**コーディネーター** 塩澤達俊さん（いちごハートねっと 会長）  
**有識者** 石井大一郎さん（宇都宮大学地域デザイン科学部教授）  
**事例提供者** お楽しみに！

分科会④ | 9:30-11:30

## 農業×里山&竹×地球温暖化防止＝SDGs

— 地球も田舎も崖っぷち!? 持続可能な生業を目指して

かつて人々の生活を支えていた里山は、現在は利用されず放棄されています。各地で市民による「森林・竹林整備ボランティア活動」は広がっているものの、根本的な解決には至っていないのが現状です。本分科会では、竹林を伐採してきた「バイオ炭」を農地に蒔き炭素を貯留し、地球温暖化防止（カーボンニュートラル）に貢献しつつ、採れた野菜を「クルベジ（cool Vegetable：地球を冷やす野菜）」としてブランド化し、付加価値をつけている農家・農業を紹介します。また、J-クレジット制度や農業補助金など、経済的活動と結びついた、市民による里山保全×農業支援×地球温暖化防止活動についても考えます。

**事例提供者** 鹿嶋與一さん（NPO法人竹もりの里 理事長）  
喜屋武誠司さん（北総クルベジ 代表）  
**コーディネーター** 塚本竜也さん（NPO法人トネギ環境未来基地 理事長）



分科会⑤ | 9:30-11:30

## 学生・生徒が「活用・動員されない」ボランティアを考える

— 大人都合ではない！主体性を解き放つプログラムとは？

本分科会は、学生・生徒のボランティア活動を「大人都合の労働力の穴埋め」や「一回限りの実績づくり」で終わらせず、社会課題に出会い、その解決に向けて自ら動き出す「主体的な人間の育成」へとつなげるアプローチを探ります。当日は、先進的な事例から、ガクチカや活動証明書だけにおさまらない、ボランティア精神が自然と育まれる「仕掛け」について考えます。さらに、参加者の意見交換を通じて、学生・生徒の内に秘められた主体性を上手に引き出すポイントを整理し、彼らの「やってみたい!」を支える『プログラムづくりの5原則』を導き出し、明日からすぐに活かせる具体的なヒントを持ち帰ることを目指します。

**事例提供者** 都築則彦さん（NPO法人おりがみ 理事長） / 濱塚牧人さん（公益財団法人とちぎYMCA）  
世田文貴さん（NPO法人静岡県ボランティア協会）

クロージング全体会 | 12:00-12:50 オープニングと各分科会の学びを共有します。

**オープニング  
報告者・総括** 矢野正広さん  
（認定NPO法人とちぎボランティアネットワーク 代表）  
**分科会①報告者** 神元幸津江さん（NPO法人ボランティア・市民活動学習推進センターいたばし 副理事長）  
**分科会②報告者** 尾崎知弥さん（認定NPO法人茨城NPOセンター・ commons）

**分科会③報告者** 塩澤達俊さん（公益財団法人とちぎYMCA 総主事）  
**分科会④報告者** 小川優作さん（NPO法人とちぎ協働デザインリーグ）  
**分科会⑤報告者** 長野大輔さん（NPO法人とちぎ協働デザインリーグ）  
**進行** 渡邊博和さん（NPO法人かぬま市民活動サポーターズ 事務局長）

# ボランティアの崖っぷち